

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	姫路市総合計画策定審議会 第2分科会 第4回会議
2 開催日時	令和2年7月17日（金曜日） 10時00分～12時00分
3 開催場所	姫路市役所 本庁舎10階 第2会議室
4 出席者又は欠席者名	<p>姫路市総合計画策定審議会委員 第2分科会 委員 13人中 12人（1人欠席）</p> <p>姫路市総合計画策定審議会参与 5人中 2人</p>
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可（5人） 傍聴人（1人）
6 議題又は案件及び結論等	<p>1. 開会</p> <p>2. 審議</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p>
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

事務局	<p>1 開会 (10:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいまから姫路市総合計画策定審議会第2分科会第4回会議を開催する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、4月に予定していたこの分科会も約3カ月遅れの開催となったが、総合計画については、市政の大きな方向性を示す重要な計画であるので、総合計画の策定自体は今年度中の策定を目指して進めていきたいと考えている。皆さんにおかれては引き続きご審議いただくようよろしくお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・欠席委員確認 ・ウェブ出席委員確認 ・ここからの議事進行については、分科会長にお願いする。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、お手元の次第に基づき進める。コロナウイルス感染症の影響で久しぶりの分科会となるが、ご協力のほどよろしくお願いする。
分科会会長	<p>2 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「当日資料1 分野目標（案）「産業分野」」について、事務局から説明をお願いする。
事務局	<p>[説明資料] 当日資料1 分野目標（案）「産業分野」</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。それでは、資料1について、産業分野の中の商工業関連の分野目標からご審議いただきたいと思う。ただいまの説明を受けて、ご意見等があればお願いする。産業分野の中で農林水産業と商工業がある。今回は商工業に焦点を当てるとのことだが、目標そのものは両方書かれている。 ・細かいことを言うと、「背景」というところがあって、コロナに関しては波線を引かれているが、2つ目の価値観やライフスタイルの多様化、働き

	<p>方や消費者ニーズも多様化してくるという辺りも、恐らくコロナ問題で変わってくることが想定される。あとのところも、細かいことで申し訳ないが、波線を引いておくとか、そういうところも意識されたらと思った。内容そのものには直接関係はないが。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらも波線を引いておく。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。では、特に分野目標に関してご意見等はなかったということで、それでは続いて資料1-1、「活力ある商工業の振興について」になる。本日は、資料の右側にある「目指す姿を実現するための方向性」と最後の「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」を中心にご審議いただく。もちろんその他の項目についてもご意見等があれば、お聞かせいただければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会会長が言われたように、コロナはしばらく続きそうな雰囲気があるが、この間のいろんな経験、これからさらに経験をしていく中で、人々の価値観が変わって、コロナが収束したポストコロナは、コロナ以前の状態に戻ることはなく、その間のいろんな出来事、考え方が影響してくるだろうと、今広く言われている。現にテレワークをやってみて、結構効率的にできる部分もある。だから、実際に現場へ出たの仕事とテレワークという、ハイブリッド的な労働形態になるのではないか。 ・それから、産業の重厚長大、そういう基幹的な産業は大事にしていけないといけませんが、アントレプレナーという、5人や10人規模の、新しいアイデアで新しい業を起こしていく流れが出てくるのではないか。そういう起業家を受け止めるような方向を姫路市は考えることがあってもいい。 ・ほかには人口が減っているが、福岡は今、非常に増えてきている。というのは、やはりそういう企業、人材を受け入れる政策があるからと聞く。それから、働き方改革でテレワークが中心になってくるので、わざわざ大阪や東京に行かなくても、ここでできる拠点を作るということもあるかもしれない。コロナの後を見据えた方向性を入れるほうがいいのではないか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それに関連して、「現状と課題」の4点目について、「新型コロナウイルスの感染拡大により」となっている。この計画は10年続く。今年は大変だが、来年ぐらいにワクチンができて、普通のインフルエンザ程度の脅威になり、次にまた新しいウイルスが生まれてくる可能性もあるわけで、10年後に見て、古くさい言葉を使っていたんだとならないように、もう少し幅を持った言葉、「新型ウイルスの脅威」ぐらいのほうが、「コロナウイルス」という言葉よりいいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスがさらに強毒化する可能性もなくはない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見については、ここは産業分野、特に商工業のところなので、経済活動に非常に大きな影響が出ているということで、今の状態を「新型コロナウイルス」という限定した書き方をしているが、ほかの分野では、まさに今言われたように「新型コロナウイルスを含む新たな感染症」とか、あるいは今回のような緊急事態といった、もう少し幅の広い言葉を使うようにしている。 ・それと、1点目の委員のご指摘については、今もそのような方向性で書いているつもりであるが、内容の修正を含め検討したい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話に関連することで、ほかの委員はよろしいか。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・今、ご発言いただいた中にもあったが、リモートでウェブ授業という形でやっている中で、4点目の技術の伝承について、中小企業や零細企業では現場に行って感覚的などころで物事を判断することがあると思う。そのようなところに対して、今、大学の授業はオンライン授業が主になり、感覚で伝えることが難しくなっている。そのようなところについて、授業の在り方として効率的なところと、企業側の現場あつての伝承というところの関連性、つなぎ合わせをどうするかを少し考えておかなければいけないと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大学がやってきたこと、これからやろうとしていることだが、やはりこ

	<p>の緊急状況の中ではウェブでないと授業ができない。1カ月ほど遅らせて講義を始めたが、全学生にそういう受講環境を整えないと不公平になるので、全部の学生を調べて、環境がない子にはそういう機材を貸与して、全学的に5月半ばから始めた。部局によっては早かったところもあるが、そういう形でオンライン授業を始めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言われたように、例えば実験、実習、フィールドワークはウェブでは完全にできないので、対面授業をしていかないといけない。オンライン授業は、知識を得るとか幅広い情報を獲得するには非常に効果が高い。いい面もあるが、そういう経験を通して、対面でないとできないこととオンラインでできること、それを組み合わせてハイブリッド的にやっている。 ・本学は7月から対面授業と両方やっているが、対面授業を徐々に増やしていこうとしている。今、また非常に厳しくなっているが、基本は対面でやらないと学習効果が上がらないので、その中にいかにうまくオンライン授業を組み合わせるか。会社で仕事をする場合と同じで、それをうまく使わないといけないということだと思う。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の伝承というところに対して、そういうところまで含めた意味合いでご理解いただく感じにしておいたほうがいい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・言われるとおりで、技術を身につけるのは現場でないとできない。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに何か。まだ予定している時間はあるので。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の問題について、方向性エのところだが、これだけ災害が起こると、企業は災害を強く意識して場所を選定されていると思う。災害に強い場所を確保して、そこに誘致する方向は当然考えておられると思うが、そういう理解でよろしいか。両方あって、海辺でないと困るところもあるが、水害が起こると大変だから。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のニーズはいろいろある。姫路は残念ながら工業団地がないので、企業や個人が持っておられる大きな遊休地をあっせんする形で誘致する中

委員	<p>で、そもそも姫路市自体が幸いなことにこれまで、たまたまかもしれないが、地理的な関係もあって、大きな災害をあまり受けていない地域であるということを前面に出しながら企業誘致を進めている。</p> <p>・災害を意識して適地を確保していくことは重要だと思う。岡山も災害がないということだったが、2年前に大変なことになった。安心はできない。</p>
事務局	<p>・姫路市の優位性として、そういうところを前面に出している。</p>
分科会会長	<p>・ウェブでご参加いただいている今西委員、いかがか。</p>
委員	<p>・このパートに関しては、私のほうから特別な意見はない。</p>
分科会会長	<p>・もし皆さんから特になければ、私個人から。資料を見て、今の話も含めてだが、コロナの話は降って湧いたようなところがあって、それに対してどういう対応をこれからしていかなければならないかということがある一方で、コロナの前からずっと先を見据えてされてきている話も当然あると思う。コロナのあるなしにかかわらず、これは必ずやり遂げるべきだという方向性と、コロナによって多少ここは変えなければいけないという方向性が分かるような書き方をされたほうが、読む側としても伝え方としてもよいのではないか。</p> <p>・今は先が見えないので難しいと思うが、例えば少子・高齢化や働き方改革みたいな話は前々からあって、それは当然やっていかないといけないことであったと思うので、そこを姫路市としてはどうお考えなのかが分かるような書き方、方向性を示されたらいいのではないか。</p>
事務局	<p>・まさに今、会長が言われているように、総合計画は10年の計画なので、内容としては10年先を見据えて、既に課題としてこれまでも取り組んでいること、そしてまた新しく取り入れていく部分、そのようなことを大きな方向性として示している。その中に今回のコロナのことも緊急的な形で少し方向性を示しているが、ただ、コロナについては本当にこれからどうなる</p>

分科会副会長	<p>かまだ分からないし、影響についてもデータとして示されていない状況なので、基本構想に書ける部分には限界がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この基本構想の下に実施計画を作る。実施計画は毎年度改訂し3年ごとに見直すので、コロナによって大きく変わる部分、あるいは取り入れないといけない新しい取組は、そちらのほうで具体的に整理していく形で進めていきたい。 ・コロナはなかなか先が見えないので、ポストコロナでどこまで動きが出てくるかわからないが、中国におけるサプライチェーンが崩壊したことで物が入ってこないことも含めると、海外工場の国内回帰も今後出てくるかなと思う。そのときに、問題は姫路市において、ここで「工場適地の創出」と書いているが、今工場適地が満杯で、あと工業用水の問題などがあると思うので、そこら辺を整備しながら、ポストコロナに向けて企業を誘致するにしても、本当に工場だけでいいのか、本社機能とかいろいろ書いているが、そういったサプライチェーンのところを入れて、表に書くのではなくて後ろで結構だが、そういったことも狙っていくということを書きただけであればいい。 ・それと、細かいことだが、姫路臨港道路も今、国に要望活動をしているので、セットで一言入れておいていただければと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備のこと自体は都市基盤のほうでは入っているが、ここでは「播磨臨海地域道路など」という表現でどうか。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・お任せする。臨港道路のほうもあるので、息の長い要望活動になるが。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見等あるか。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・「目指す姿2」のところで、「播磨圏域の交流拠点として、賑わいと活気あふれる魅力的な中心市街地が形成され」とあるが、この「市全体の活力が向上している」というところに対して、現状の課題や目指す姿を見ると、まちなかの話が多くあって、市全体の活力へどのように展開していくのか見

事務局	<p>えにくいところがある。市全体の活力というところを前回見直していると思うが、この表現でいくと、どのように市全体に波及させていくのかがもう少し欲しいと思うので、そこをどのように考えるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この「活力」の部分の修正は、もともと市全体の「経済活力」が向上しているという言葉だった。経済活力だけでなく、市全体として活力が向上しているとしたほうがよりよいということで、今回、言葉を修正した。 ・事務局の思いとしては、中心市街地の活力が向上することで、その波及効果が市全体に広がり、市全体の活力が向上するというストーリーを描いているが、もし言葉を付け足したほうが良いということであれば、何か頂ければと思う。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地を中心として、今、姫路市は多核連携型都市という話で展開されているので、この関連データのところでいくと、中心市街地での課題だからということで、不満があるものだけざっと出しても、ではこれをどうするのという話になる。駐車料が高いのなら駐車料を安くするとか、空き店舗については確かに40店舗ぐらいあって、多いといえば多いが、ほかの都市と比べると少ないことも含めると、このアンケートの結果がミスリードする可能性もあるので、これよりは、中心市街地を中心に全市で経済活動をしていくのだという多核連携のほうが、例示とすれば、方向性が分かるのかなという気がする。 ・この中心市街地のところは丸囲みで書いてあるが、言われるとおりで、魅力的な店が少ないとかいろいろあるが、駐車料が高いというのが目立っている。そこに丸が入っていないのはなぜか。そういうことも含めて、このアンケート結果にどういう意味合いがあるのかというのが少しある。中心市街地を活性化するとき、不満の多いところを解決していくというのであればこれを載せる意味があるが、そうすると今度は、魅力的な店を誘致するためにどうすればいいかという話がこの中にないと駄目である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・右側の目指す姿を実現するための方向性をリードするための課題認識ということで、市民の方が魅力的な店舗が少ないとか空き店舗が多いと感じ

	<p>ているので、右側の方向性クやケも関係してくると思うが、新しいまちづくりの担い手をつくっていったって、そういう方に魅力的な店舗づくりを進めてもらうという方向性を示している流れにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料の「想定される取組」を見ていただくと、さらに分かりやすいと思うが、右側の方向性クで「まちなかでの創業支援」といったところ、あるいはその下のケの「姫路駅西地区のリノベーションまちづくり」、「大手前通りエリアの魅力向上」も関係してくると思うが、そのような魅力的な店づくりや空き店舗対策に取り組む方向性として、方向性クとケをまとめている。 ・駐車場の料金が高いという不満があるかもしれないが、駐車場自体は最近コインパーキングが増え、逆にそれが問題になっているようなところもある。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それが空き店舗が少ない理由になっているかもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料が高いというのは行政ではいかんともしがたいところがある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そんなに高くないのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的にはそう思う。コインパークは大体どこも一緒なので。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話は、表現をどうするかということだが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「経済」という語句があったほうがいいのか。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それもそうだが、最初の話に戻ると、もちろん中心市街地の話は大事なことでこれでいいと思うが、市全体の活力を向上させるという全体への波及効果という部分をもう少し分かるように書くとか、あるいは「現状と課題」のところ、中心部が活性化していないので全体として落ち込んでいるという課題がもしあるのなら、それを「現状と課題」に入れておいて、中心部を活性化させれば、それが広がっていく可能性があるみたいな書きぶりを

委員	<p>しておく、今言われたことはもっとはっきりするのではないか。この記述だと中心部だけに重点を置くというように読まれる可能性があるので、そういうのがあればということ。</p> <p>・それに加えて、まちなか全体のことを指すのなら、姫路駅西地区とか大手前通りと限定するのもどうかなと思う。遊休不動産は野里地区にもあるし、城西地区にも、お城の周りにもいっぱいある。まちなか全体でそういうのがあるので、もう少し幅を持たせたほうがいい。</p>
事務局	<p>・今のご意見を踏まえて、次回に修正案をお示しさせていただく。</p>
分科会会長	<p>・よろしく願います。</p> <p>・時間のこともあるので、次に「観光・スポーツ分野」について事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>[説明資料] 当日資料2 分野目標(案)「観光・スポーツ分野」</p>
分科会会長	<p>・それでは、まず資料2の観光・スポーツ分野の分野目標からご審議をいただきたい。ただいまの説明を受けて、ご意見等があればよろしく願います。</p>
分科会副会長	<p>・観光の方向性イのところに播磨の連携の話が書いてある。ここの部分もそうだが、「土台」の「地域一体となった」というところで、インバウンドがいつ回復するか分からないし、当面は国内観光客の誘致になるが、姫路だけで売り込んでも、お城だけに来て、すぐ帰ってしまう。滞在型になかなかつながらない中で、連携という形でいうと、8市8町の連携が「土台」のところにあったほうがすっきりする。</p> <p>・DMOについても神戸と姫路と豊岡にできて、兵庫のトライアングルでやっいてこうと知事も言っている中で、姫路が播磨圏域の観光の推進役としてやっていくのは「土台」のほうではないか。ここだと言われたらそれまでだが、観光コンテンツのところはあるが、体制も含めて連携していかないと</p>

事務局	<p>いけないところからいくと、「土台」のほうがいい感じがする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光を通じて地域の活力を生み出すというのも重要な要素と思うので、そこは方向性カのところは今言われた内容を少し付け加えるような形で修正を考えたい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・分野目標に関してはよろしいか。 ・なければ、私の個人的な感想で、背景のところの文言は書き方が難しい。つまり、現状はコロナで変わってきているという話もあるので、最終的には報告書を出す段階で、それに合った形になってくるとは思うが。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ関連の2点目のところで、「国内では、東京2020オリンピック競技大会」という言葉があるが、これはこのままで行くのか。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それは私も気になった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部局に確認したが、今のところこの名前を変えるということは報道されていないので、この名前のまま残すということである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現実には厳しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・答申を頂くのは8月末なので、その辺をにらみながら、今言われるようにできるだけ最新の状況に合わせたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・名称も含めて、例えば「東京2021」とかに変われば、できる限り対応していきたい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・分野目標そのものに関して特にご意見等がなければ。もしあれば後ほどご意見を頂いても結構なので、次に資料2-1の政策1「おもてなし観光交流都市の推進」について、ご意見を願います。

<p>参与</p>	<p>・方向性の活力のエの「コンベンション都市の実現」について、近年、文化コンベンションセンターを中心に姫路としてもMICEを推進しているところで、先ほどの方向性イの観光コンテンツについてもそうだが、ミックスさせるというか、MICEの受入れは観光がセットになることが多いと思うので、誘致するに当たってMICEが終わった後の観光みたいな話も積極的に書いてはどうかと思うが、いかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>・言われるように、開催地の重要な利点として、アフターコンベンションということで、その後の懇親会やエクスカージョンを含めたものが開催地としては経済効果を期待するところなので、その辺を付け足す形を考えたい。</p>
<p>委員</p>	<p>・MICEという言葉は一般化しているか。一般の方が見たとき、MICEとは何だと思われるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>・MICEという言葉が流通しているかどうかも含めて、先ほど説明できなかったが、実は各分科会を今週の月曜日から開催し、第4回の分科会は今日で最後になるが、全ての分科会で言葉（単語）の意味について言われている。特に最近は横文字が多く、MICEもそうだが、英語の頭文字を取ってつけた名称は市民に分かりにくいと指摘を受けた。現総合計画は用語解説として言葉の説明を最後につけているが、今回は用語解説を今と同じように冊子の最後につけるか、あるいは同じページの余白につけるか、今後本のデザインを考える中で検討していきたい。いずれにしても言葉の説明はつけようと考えている。</p> <p>・それと、できるだけそのような横文字や英語の言葉は使わないようにして、使うときもその言葉を説明する文章をつけるような工夫をしている。今回は観光分野なので少ないほうだ。ほかの分野、特に昨日の行財政運営分野では非常にたくさん出てきて、全く言葉が分からないという指摘を受けた。その辺は事務局として気をつけて、言葉の表現を工夫していきたい。</p>
<p>分科会会長</p>	<p>・方向性でも期待することでも、資料2-1に関することであればどのよ</p>

分科会副会長	<p>うなご意見、ご質問でも構わないので、何かあれば。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1点だけ。「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」で、昨日の分科会でもここをどういう形でつけるか、話があった。それはともかくとして、市民のところの「スポーツへの関心と理解を深め、スポーツに積極的に参加しましょう」もいいが、市民だけでなく企業も含めてトップスポーツを応援しようというのを期待することの一つに入れておいてもいいのではないか。今、姫路で2つ、サッカーとバレーがある。それ以外にもあるかもしれないが、トップスポーツを市民の皆さん、企業の皆さんで応援していこうというのは、期待することに入れておいてもいいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分科会でそのほうがいいということであれば、入れさせていただく。もちろん市としてはトップスポーツを応援しているので、何も問題ないと思う。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員、何かあれば。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光のところだが、ブランディングに関することが書かれていないと感じた。ここでいうブランディングとは、地域ブランドのことで、観光だけではなく商・工・農の産業分野と連携・協力した形でのブランディングとプロモーションに関する記述がないと思った。 ・ 例えば、参考資料の政策2の商工業のほうの方向性の活力のウのところにはものづくりによるブランディングが書かれているが、観光のほうではブランディングに関することが書かれていないので、それが方向性の活力のウのところに入るのか、土台のカのところに入ってくるのか、私は分からないが、商工業、農業とのコラボレーションによるブランディングをすること、そしてそのブランディングの際に、商・工・農の商品の良さをアピール、あるいは販路拡大のためには、良さを理解してもらう必要があり、恐らく国内外からの招聘旅行、あるいは招聘旅行を通じて体験をしていただいて、姫路のモノの良さ、サービスの良さを理解してもらうことがあると思う。ビジネスのところと、商品のブランディングと地域のブラ

	<p>ンディングがコラボレーションするということと、それに関連してビジネス旅行が発生してくるというところの反映が少しいかなと思った。</p> <p>・また、ブレジャーとって、ビジネスとレジャーを一緒にした言葉がある。ビジネスとして出張で来る。でも、その後に自分のレジャーを付け加えるブレジャーという旅行が、日本ではまだ認められにくい、海外ではされるようになっているし、実際の皆さんの行動の中には少なからずあると思う。ほかの分野と連携した、地域や産業の枠を超えた形でのブランディング、コラボレーションを観光に生かすことをどこかにつけ加えればいかがかというのが私の意見である。</p>
事務局	<p>・非常にいいご意見だと思う。今、委員が言われた商工業分野のところにはブランド化というのがある。それから次回ご審議いただく農林水産関係のところでもブランド化というのを方向性として書いているが、観光の中でそうした農林水産関係と商工業関係がミックスされた形で、観光としてのブランド化を図っていくといった視点はいい視点と思うので、そこについても対応を検討して次回お示しさせていただけたらと思う。</p>
委員	<p>よろしく願います。</p>
分科会会長	<p>・ありがとうございます。もともと審議していく中で、ほかの分科会との関連性というところは我々も前から気になるという話をしてきた。ほかの分科会と調整するのは難しいところもあるが、第2分科会の中で、今、委員が言われたような分野間の関連性というところであれば、我々の中でそれを明確にするよう意識していくのは可能だと思うので、そういう視点は関連しているところがあれば、できるだけつながるような表現にすればいいのではないかと、今話を聞いて私も思った。</p>
事務局	<p>・以前に分科会で委員から、食べ物とかお土産とか、そういうものがないというご指摘があり、そういうところにもつながる話と思うので、次回に対応を考えさせていただく。</p>

分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・では、今は観光だが、それでも結構だし、それからもう一つ、政策の2、資料では2-2になるが、「スポーツを通じた活気あふれる社会の実現」についてご意見等があればお願いします。先ほども少し話があったが、スポーツのところは「目指す姿」が2つ出ているので、そういうところも踏まえてご意見があれば。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何点か質問させていただく。地域スポーツは前から出ているが、これからどんどん具体的になって案が出てくると思う。この地域スポーツ、小学校単位のお話で出ていたが、一番メインに動く団体はどこになるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の基本構想の中にはそこまでの記述はない。
竹原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私が言いたいのは、こういう文書が出てきて、文書について今修正をやっているが、少なくともスポーツのところでは、私個人としては何ら問題はない。一番心配しているのは、これを実際に実現していくときの、このことについてはどこへ話を持っていけばいいのか。地域スポーツ、簡単に言えば小学校区でスポーツを盛んにしようというのは誰も反対しない。では、そのときにこれをどこへ持っていくのか。 ・例えば、私は姫路市体育協会だが、姫路市体育協会に持ってこられても、ちょっと筋が違う。種目団体とか陸上競技協会とかなので。眞鍋さんのところのバレーボールにしても、小学校にはバレーの指導とかあるかも分からないが、地域スポーツといったとき、その辺りを見越して文章化されているのか。 ・1つだけ出ているのは、スポーツクラブ21である。これは県の事業にも入っている。会長は姫路の方だが、スポーツクラブ21、大変だなと。これが煮詰まっていけば姫路市体育協会としてもお手伝いすることがあるかもしれない。その辺りを見越してこういうのが出ているのかなと思って質問させてもらった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど申し上げたように基本構想であるので、ここでは地域スポーツを支援するという表現、方向性を示すということで、個別具体の話は所管す

<p>委員</p>	<p>るところとお話しいただく内容かと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際、具体的に今、産業のお話が出ているが、それを実現するに当たってどこを動かすとか、どこへ予算をつけるとか、そのようなことを役所の中でできるのであればいいが、私たち体育協会とかスポーツクラブ21、そこへ力を入れるときにどのような支援を頭に置かれているか。 ・というのは、スポーツの計画は10年計画ぐらいで、私が最初にお話ししてからずっとこの話が出ている。地域スポーツを盛んにしよう、姫路のスポーツを盛んにしよう、選手を育成しよう、指導者を育成しよう。これは誰も反対しないし、みんな正しい。ただ、実際どうするのだという具体的なことを見越して、これはここに頼まないと駄目だとか、この予算を増やさないといけないとか、そういうことでないといつまでも変わらない。それを心配しているので、少し頭に入れておいていただきたい。 ・それから、具体的な話になるが、「目指す姿」の方向性の人材育成の中で、ぜひ地元の大学の協力を頂きたいと思う。例えば地元の大学と連携して、練習方法だとかコーチングだとか、いろんなことが出てくると思う。企業でもいいが、その辺りができるとありがたい。 ・私は30年ぐらい前に、当時の姫路工業大学の先生に「中学生の陸上競技選手の身体能力を測りたい。協力してくれ」と言われた。トップの一流選手は多いが、ジュニア期は少ない。そこで、中学1年の子が大学を出るぐらいまで姫路の子をピックアップして連れていったことがある。そのときの条件として、「学会で発表するだけでは困る。必ず中学校の現場へ戻してください」と言った。そういうのをもし個々でやっているのであれば、窓口として素晴らしい大学があるのだから、もう少し現場のほうと交流を深める機会があればありがたいと思う。 ・それから、もう一つお聞きしたいのは、地域スポーツの中に小学生とか中学生は入っているか。もし入っていないのなら、その辺りのスポーツ、健康も含めて、市としてどうするということも、文書化しなくていいから、地域スポーツといった場合に該当する人がどれぐらいか、特にメインになるのはどういう人か、示していただきたい。
-----------	---

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の大学との連携・協力、大学のスポーツに関する専門的な知識とか、あるいは技術を有する指導者ということかと思うが、ニュアンスとしては科学的なアプローチを取り入れた指導を行う指導者というところで、意識して書いている。 ・もう一つの、地域スポーツの対象者ということだが、これはウの2点目の2行目「子どもや親子、高齢者、女性がライフスタイルやライフステージに応じてスポーツを楽しむ機会の提供に取り組みます」というところで、子どもも含めて記載している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。 ・ついでに、「想定される取組」のほうの意見でもよろしいか。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・どうぞ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「想定される取組」の「活力」のところに「学校体育の充実（部活動の振興）」とあるが、これはぜひ実現していただきたい。ただ、現状、小学校では教師がグラウンドや体育館でスポーツの指導をすることができない。理由はいろいろある。 ・中学校についても「ノー部活デー」がある。教員が不足している。生徒数も減っている。にもかかわらず部の数は減らない。指導者不足で、外部指導者を呼んでくる。実は私は去年から地元の中学校の陸上競技の部活動の外部指導者として行っている。昨年までは週8時間で、時給1,500円。今年更新して、週2時間となり、金額が4分の1に減った。 ・何人かの校長に「現場はどうか」と聞くと、「来てほしい」と言う。出張が多い。経験がない人が顧問になる。生徒はいるから外部指導者に来てほしい。その意見が現場から出てこないと多くの方は知らない。これは教育委員会の関係になると思うが、いろんなところで現場の指導者、そして子どもたちも非常に困難な状態にある。これが地域スポーツに当たるかどうかは別問題として、そういうことを委員の皆様もお含みいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。委員が言われているように教育分野がメインに

委員	<p>なるお話である。教育分野のほうで、スポーツも含めて、外部人材の活用は方向性としてあって、方向性を踏まえた取組を進めていく。</p> <p>・大学の話が出たが、本学は健康スポーツに力を入れて、人材を集めている。特に高齢者の健康維持という視点が1つある。それと、科学的な体力の訓練、その辺りに力を入れているので、ここに少し書かれているが、高齢者の健康を維持していくという意味での健康スポーツには協力できる。それを書いていただきたい。</p>
委員	<p>・ぜひ書いてください。</p>
分科会会長	<p>・ありがとうございます。ほかに。</p>
委員	<p>・政策2の「スポーツを通じた活気あふれる社会の実現」という政策・方向性は非常に素晴らしいと私は個人的に思っている。また、スポーツが盛んなまちは、子どもから高齢者までみんな生き生きとしているし、姫路も今まで以上にスポーツの盛んなまちにしてほしいと思う。</p> <p>・あと、長期的な展望というか希望だが、スポーツを振興させるためにはソフト面とハード面の両方に長期にわたって取り組む必要があると思う。特にソフト面からは、トップアスリートやトップ選手が子どもたちと多く触れ合うことによって、子どもたちが将来に大きな夢を持ってもらいたいと思う。特に姫路はサッカーとバレーボールがあるので、トップアスリートとサッカー教室やバレーボール教室を数多くやることによって、子どもたちに夢を与えられる。</p> <p>・そして、ハード面では手柄山の新アリーナに期待している。LED照明など設備面でもグレードアップしていただきたいと思う。そして手柄山のほうに新駅ができると聞いている。姫路のような地方都市では、新駅がすぐ近くにあるのは大きなメリットだから、素晴らしいアリーナを造っていただきたいと思う。</p> <p>・そしてもし可能であれば、今コロナの影響で厳しいとは思いますが、姫路市の職員の方に、海外、アメリカに行って、アリーナの設計や運営視察に行っ</p>

	<p>てもらえたらなと個人的に思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上である。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。私、個人的にはトップアスリートによる指導ということ、方向性を書くかどうかは別として、できればなと思うが、既にされているところがあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんなところでやっている。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ姫路もビクトリーナの選手に指導していただける機会があればいいと個人的には思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一つよろしいか。新しいアリーナのことだが、せっかく造っていただくのだから、財政的なこともあるかも分からないが、日本中、世界中に突出したというとおかしいが、アメリカにはピラミッドアリーナというのがある、全国民が知っている。キャッスルアリーナとか、すぐに姫路と分かるようなアリーナを整備されると、より一層日本中の皆さんに姫路をアピールできると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「活力」ウの2点目、「市民ニーズに応じた多様なスポーツイベントの」ところで気になったのは、「子どもや親子、高齢者、女性が」となっているが、仕事で頑張っている男性はいいのか。仕事ばかりで時間がなくて、生活習慣病に陥っている男性も手軽に地域で参加できるスポーツイベントがいいと思うが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・修正を検討したい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、現状どういう感じか。今の話で言うと、男性は仕事が忙しくて、なかなかそういう機会がなく、むしろ女性のほうが機会が多いというのがもし現状なら、むしろ働き方改革とか、さきに話が出ているが、そういった中で男性もスポーツを楽しむことができるような環境をつくるみたいなこと

事務局	<p>は書いても問題ないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の会長のご意見だが、私どもの思いとして、右下の「企業、団体に期待する」こととして、働く人が気軽にスポーツに取り組める環境を整えることや、ワークライフバランスのようなことも、企業、団体の方にご協力いただければと書いている。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・私個人の意見になるかもしれないが、この文章を読んでスポーツする人口を増やしていくということが積極的に見えてこないのかなというところがある。「土台」のところの「誰もが身近で安全・安心にスポーツに取り組める環境づくり」というところで、市立のスポーツ施設、学校、企業とあるが、実はスポーツには触れ合うタイミングがあるはずで、それは何かというと親子で、子どもが小さいときにボールに触れるとか、道具に触れて初めていろいろなことができる中で、今はなかなかそういった環境が家の周り、地域にないので、場所を借りなければいけない。本当はこの「誰もが安全・安心に」というところには、自由に使える空間を作っていくとか安全に遊べる場所、ボールに触れる場所を作るところが大事と思って発言させてもらった。そのところがここに含まれているのであればいいが、これはある程度理解した子たちがスポーツに触れる場になっているが、触れ合う場が必要ではないかと思う。
永廣分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性ウの2点目に近い内容と思うが、機会の提供というところに、そういった場所も含めての提供というニュアンスで書いている。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これは別の分科会の話かもしれないが、公園とかを整備するみたいな話の中にこういう場所が入ってくるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・交流ということか。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・交流というか誰でも使えるというか、親子で触れ合う場所として、例えば、公園をもっと整備していけばそういう場所として使えるのではないかと思ったが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園については、市内に今900ぐらいの公園があって、その中でももちろん公園は自由に使えるし、そこで、触れ合いとか交流もされていると思うが、スポーツという視点でいくと、逆に「ボール遊びなどはしないでください」という注意書きがあったりするので、スポーツという部分では公園は使いにくい面がある。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。ほかに何かあるだろうか。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・1点だけ。説明で健康で長生きみたいな話があったが、スポーツの政策のところに「健康と長生き」というキーワードが入っていたほうが良いと思う。ほかの分科会で健康分野があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉分野がある。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツを通じた活気あふれる社会の実現」だから、最終的には健康で長生きする体をつくろうということなんだと思うので、そういう文章がどこかに入っていればいい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿には「健やかで」ということで記載がある。今、委員が言われていた内容を方向性の中でも触れて、ということか。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性でなくていいが、どこかに「健康で長生き」を入れてほしい。なぜスポーツをやるんだという、余暇を楽しむとかいう効果が一番と思うが、市として推進していくとなれば、やはり健康寿命を延ばしてという話につながると思う。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康寿命」という言葉自体は、健康福祉の分野の中で出てくる。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらかというところでは医療か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう視点だが、日本人は平均寿命が延びているが、平均寿命が延びるだけでなく健康寿命を延ばさないといけないという方向性を健康福祉のところでは書いている。それはスポーツに取り組むことなどを通じてということになる。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。他にご意見等あるでしょうか。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・議会から参与で寄せていただいている。ふだんから言っているのだから、今日発言する必要もないかと思うが、1点、まず委員が言われた道路のことについては、この総合計画に入れていただきたい。当然のことだが、姫路市の10年がどうあるべきかというような格好に、長期的にやったことを感じ取っていくことだと思う。産業ではなく、姫路全体にとって大きなものになると思う。 ・10年、10年、10年でやってきて、先ほど委員が言われたが、今までと同じような形で、可もなし不可もなしでまた10年というような格好になるのなら、先ほど言った3年、3年、3年で区切って、一つ一つを具体的に片付けていかないと、どれか一つでもできたのかというのが、私ら議会で振り返らせていただいて常に思うことである。 ・今日せっかくいいご意見を頂いたり、具体的なことを頂いたり、例えば委員が言われたようなことも、今までの姫路市で得られない情報であるわけだから、総合計画は総花的にやらないといけないかも知れないが、せっかく分科会をやって得た貴重な意見であるので、それはその時代の意見として一つ一つ整合させるようにやっていかないといけない。 ・言い方は悪いが、新総計は新総合計画推進室の皆さんが「ええのができたな」で終わってはいけない。実のある結果の出る計画にぜひしていただいて、10年後、「何や、また同じことか」とならないように、分科会の委員

	<p>の皆さん方の貴重な提案がより具体的になるように進めていただけたらと思う。</p>
分科会会長	<p>・どうもありがとうございました。大体予定どおり進行している。まだたくさんご意見等あるかと思うが、時間の関係もあるので。</p>
分科会会長	<p>3 その他</p> <p>・次に、一番最後になるが、次第の3の「その他」に移らせていただく。事務局から別紙の「地域特性に応じた政策・施策を考えるためのエリア」の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[説明資料] 別紙 地域特性に応じた政策・施策を考えるためのエリア 別紙 地域づくり推進協議会</p>
分科会会長	<p>・ありがとうございました。ただいまのご説明についてご意見等があればお願いします。</p> <p>・この点については特に意見はなかったということで、ありがとうございます。全体を通じて何かあるか。</p>
事務局	<p>・委員、最後になるが、今日の会議を通して何かご意見はあるだろうか。</p>
委員	<p>・観光のところもいっぱい意見があったので、私のほうからは以上で大丈夫である。ありがとうございます。</p>
分科会会長	<p>・ありがとうございます。よろしいか。</p> <p>・では、特にこの「地域特性に応じた政策・施策を考えるためのエリア」についてはご意見がなかったということで、ありがとうございました。</p> <p>・全体を通して、もう一度確認だが、ご意見、ご質問等はあるだろうか。よろしいか。</p> <p>・それでは、これで本日の第2分科会の第4回会議を終わる。本日はいろいろとご審議いただきありがとうございます。最後に事務局から連絡事項</p>

事務局	<p>を申し上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて、本日は長時間にわたり様々なご意見を頂きありがとうございました。今年度はコロナがなければ4月から7月にかけて3回の分科会を開催する予定であったが、ご案内のようにコロナで開催が難しくなったため、本日7月17日と7月の終わり、7月31日にまたお集まりいただいて、今度は環境分野と産業分野の農林水産業関連について議論していただこうと思っている。 ・改めて申し上げると、7月31日午後2時から、会場は防災センター5階にある災害対策本部室で開催する。場所が変わるのでお間違いのないようお願いする。 ・それから、今回と次回の第2分科会での審議を踏まえて、8月31日（月）午後2時から、日航ホテルであるが、最終の審議会としての取りまとめを考えている。8月31日（月）2時からであるが、8月7日までにご出欠の連絡を頂ければありがたい。 ・以上をもって第2分科会の第4回会議を閉会させていただく。本日はどうもありがとうございました。 <p>4 閉会 (12:00)</p>
-----	--